

日本機械学会中国四国支部シニア会 第3回講演会を開催

日時：平成29年度11月18日（土） 15:00～16:50

場所：岡山国際交流センター 3F 研修室（岡山市北区奉還町2-2-1）

講師：大津 正樹 氏 三井造船株式会社 機械システム事業本部

（元日本機械学会中国四国支部 支部長）

演題：「船用大型ディーゼルエンジン技術の進歩」

参加：22名

第3回目の講演会は、初めて中国四国地区の東部の岡山市で開催となりました。船用大型ディーゼルエンジンの専門外の方にも、関心を持っていただけるよう、①船用大型ディーゼル機関とは、②大型低速ディーゼル機関の歴史、③低速ディーゼル機関の構造、④電子制御化、⑤環境規制、⑥代替燃料(Low Sulfur)についてご講演いただきました。



大型低速ディーゼル機関の歴史では、1955年から2015年の間に、

掃気圧力は 1.2 ⇒ 4.5 bar

正味平均有効圧力は 5 ⇒ 21 bar

シリンダ最高圧力は 45 ⇒ 185 bar

燃料消費率は 210 (1975) ⇒ 170 (2000) g/KW・h

と大きく改善し、そのために数々の構造変更や電子制御化の工夫がされていることを具体的に紹介されました。

環境規制としては、CO₂、NO_x、の他自動車等では余り問題の無いSO_xが問題で代替燃料の研究開発が進んでいるようでした。

質疑応答にも、ていねいにご回答頂いて、活発な議論が出来ました。

今後も興味深い講演を計画していきますので、シニア会員等の皆様からの講演内容のご要望とご参加を期待して居ります。